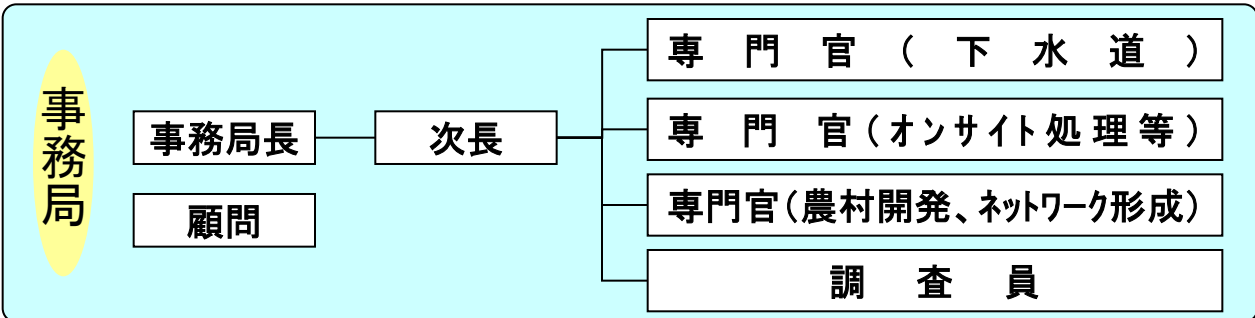
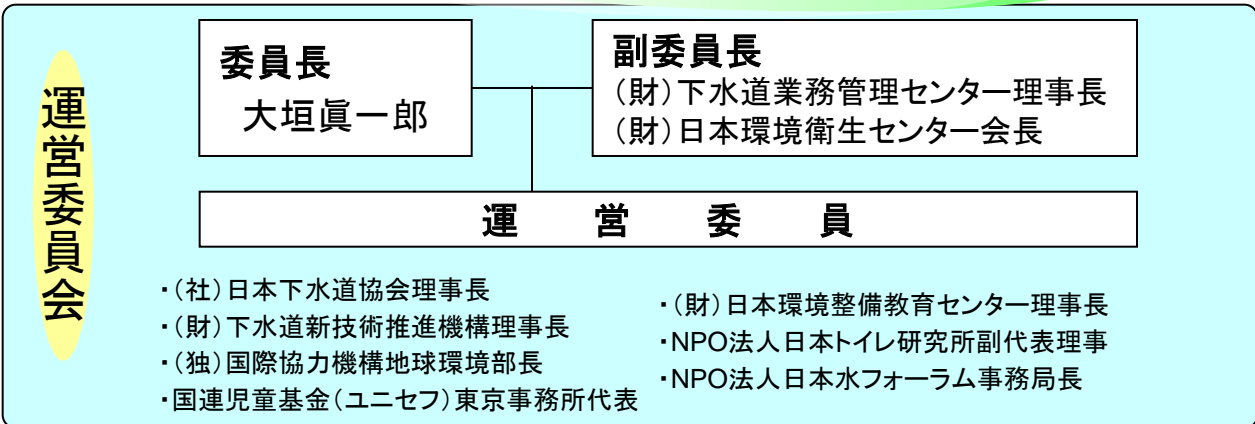


# JSCの組織構成



国内パートナー機関が運営委員会を構成

## これまでの活動

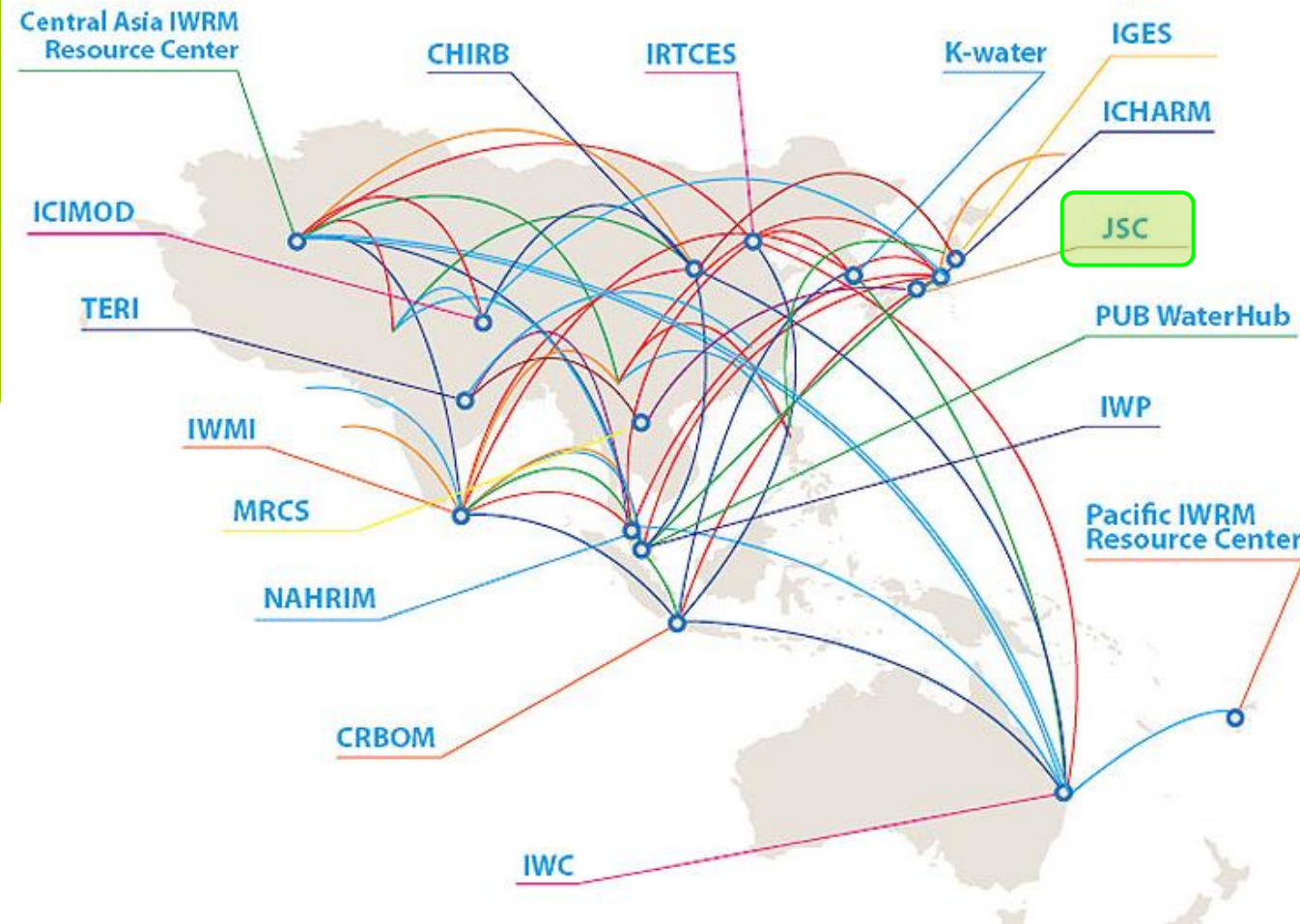
- |             |   |
|-------------|---|
| 2009年10月16日 | : JSC発足(第1回運営委員会)   |
| 2010年1月     | : 国際衛生年フォローアップ会合(日本政府主催)参加  |
| 2010年2月     | : 日本・インドネシア衛生セミナー   |
| 2010年3月     | : IWA 国際会議(スラバヤ)  |
| 2010年6月     | : Regional Dialogue on Wastewater Management in Asia (Kuala Lumpur)   |
| 2010年6月     | : 日印会議(ニューデリー)  |
| 2010年6月     | : Sanitation KnowledgeHub Seminar (Singapore)   |
| 2010年10月    | : Expert Group Meeting on Monitoring of Investment and Results in the Water Sector in Asia and the Pacific (Manila) |

**お問い合わせ先**

代表事務所 財団法人 下水道業務管理センター (東京都文京区湯島3-26-9  
インテリジェントビル湯島イヤサカ5F)  
電話 03-6803-2700 FAX 03-6803-2539 URL: <http://www.sbmc.or.jp>  
財団法人 日本環境衛生センター (川崎市川崎区四谷上町11-15)  
電話 044-287-3251 FAX 044-287-3255 URL: <http://www.jesc.or.jp/>



## ～アジア太平洋地域の衛生問題解決にむけて～



- 財団法人 下水道業務管理センター(SBMC)
- 財団法人 日本環境衛生センター(JESC)
- 社団法人 日本下水道協会(JSWA)
- 財団法人 日本環境整備教育センター(JECES)

## ナレッジハブとは・・・

- ・アジア太平洋水フォーラム (APWF) が推進する「地域の水に関する知識ネットワーク」の中心 (ハブ) となる組織です。
- ・各ハブは、それぞれの分野で、アジア・太平洋地域における水の安全保障の向上や知識の共有を促進し、水の課題解決のため取り組んでいます。
- ・現在、テーマ毎に17のハブ組織があり、日本ではJSC以外に2つの組織が活動しています。
  - －災害リスク低減・洪水制御 (ICHARM)
  - －地下水管理 (IGES)
- ・JSCは2009年6月にシンガポールで行われたAPWFの執行審議会において、IGESとともに新たなハブとして認められました。

## アジア太平洋地域における サニテーションの課題

アジア太平洋地域の「衛生」事情について、各国間で情報が共有されていない

各国・各地域で衛生行政が断片化

情報が知識として未集約

「衛生」分野の

政策

能力

投資

が未発達

クライアント (国・市町村・NGO等) への支援が必要

## サニテーションナレッジハブへの期待

### 目的

- ・アジア太平洋地域の各国の「衛生」に関する政策的・技術的能力の向上
- ・下水道の整備、トイレの普及、浄化槽やし尿収集処理等のオンサイトサニテーションの開発・普及に関する能力構築

### 役割

- ・アジア各国の「衛生」能力構築・向上のため、各国際機関をネットワークし、知識・情報を集約・共有・普及
- ・ハブの構成団体ではない国内パートナー組織の情報についても、ハブを通して情報交換・連携
- ・クライアントの活動を支援

### 活動内容

- ・各国のネットワーキングと国際セミナーの開催
  - －各国の「衛生」関係機関の情報ネットワークの設置・運営
  - －「衛生」に関する知識と経験の普及のための国際セミナーの開催
- ・調査活動
  - －アジア太平洋地域の「衛生」データベースの構築
  - －産学官のチーム編成による各国別の衛生改善に関する調査活動の実施
- ・ADB・JICA等が行う「衛生」関係オペレーションに関する助言や支援 (プロジェクト調査、適正技術選定)
- ・UNICEF等の国連機関やWTO (世界トイレ機関) 等のNGO, NPOとの連携